



## 西川区長4選出馬表明 11月選挙 6月議会で自民党議員の質問に答弁

6月21日、西川区長は荒川区議会本会議場で自民党の北城議員の質問に答え、今年11月予定の区長選挙に於いて4回目の区長選挙に出馬するとの表明をいたしました。12年前に18万人だった区民を現在23万人まで増加させた実績や防犯面では荒川区を23区の内文京区に次いで2番目までに安全な街に作り上げ、小学校全校にスクール安全ステーション設置やコンビニにAEDの配置、防災面では「災害時に於いては一人の犠牲者も出さない」を合



言葉として中学校全校に防災部を設置し、災害時に於いても中学生を「助けられる人から助ける人へ」と転換するなど安心・安全な街の取り組みや待機児解消のために2000人超の受け入れの保育園増設や全国初となる汐入公園内の保育園設置、介護や認知症予防の取り組みなどの成果を上げ、今後も引き続き荒川区を「暮らしやすい街ナンバーワン」を目指して行きたいとの思いを語りました。今後は自民党荒川と政策協議を行い、11月の選挙に取り組んでいきます。

## 区議会自民党14人の最大会派へ

現在、荒川区議会は32名で構成されていますが、この度、自民党に新たな加入者として前維新の会の「町田 高氏」が加わり所属議員は14名となり最大会派となりました。又、5月会議に於いて新たに役職が変更となり、私、とりがい秀夫は「総務企画委員会委員長」に就任しました。自民党支部では引き続き「事務局長」として働いていきます。

## 地域の歴史【人物編】

# 歌手から作曲家へ、ヒット連発。 弦哲也さんは北区～西尾久住まい

今回はおなじみの昭和・平成のヒットメーカー弦哲也さん。荒川区民の歌といえば式典で歌われる「あらかわ～そして未来へ」そして盆踊りの定番曲となっている「荒川音頭」の作曲も手がけました。弦さんは初め歌手を目指し千葉県銚子から中学3年生の時に上京します。寄宿先は荒川区の隣北区の堀船で、知り合いの紹介で浪曲の春日井先生の弟子となり修業が始まります。今から50年前1965年に「田村進二」の名で歌手としてデビューしますがヒット曲に恵まれず芸名を「弦哲也」に変更。(好きなギターにちなみ「弦」名前が浮かばないうちに徹夜をしたのにちなみ「哲也」)。歌手としてはつらい時代が続きましたが人生の転機は何があるかわかりません。北島三郎と地方公演をしている時に勧めてくれた「作曲をやってみたら」の一言でした。それが将棋の内藤国雄が歌った「おゆき」でいきなりのヒット。そして川中美幸の「ふたり酒」でもヒット。しかし、それでも歌手の夢は捨てきれずにいましたが100回目のコンサートを区切りに作曲家としての道を選び、今日まで創った曲が2000曲を数えました。荒川区に住んだ事もある「弦哲也さん」できたら荒川区に関わるヒット曲をお願いします。主なヒット曲を紹介します



石川さゆり 天城越え・夫婦善哉 石原裕次郎 北の旅人 思い出はアカシア 五木ひろし 人生かくれんぼ おしどり 川中美幸 ふたり酒 二輪草 キム・ヨンジャ 暗夜航路 天童よしみ 男の夜明け 永井みゆき 大阪すずめ 細川たかし 佐渡の恋唄 水森かおり 鳥取砂丘 釧路湿原 都はるみ 千年の古都 山本譲二 花も嵐も 晴山さおり 一円玉の旅がらす 他に美空ひばり・小林幸子・八代亜紀

今月は選挙のため一部省略しました。ご了解ください